

(1) 学校経営の改革方針における今年度の重点取組についての評価結果

項目	行動計画の目標・評価方法	達成状況・評価結果	具体的取組に関する成果や課題
	<p>中長期の重点取組1「授業の改善・充実」</p> <p>(1) 公開授業や研究授業を実施し、指導方法の改善、指導力の向上に取り組む。</p> <p>(2) 生徒の授業満足度90%以上</p> <p>(3) 年間総授業時間数の確保（年間：1,050時間以上）</p>	<p>(1) 英語では県内の高校教員も参加した公開研究授業を3回実施した。また、保護者を対象に一斉公開授業を実施</p> <p>(2) 授業はわかりやすいか 72%</p> <p>(3) 授業時間数の確保に努め、年間総授業時間数：1050時間とした。</p>	<p>○年間総授業時間数の確保に継続して取り組む。</p> <p>○国の英語力強化の取組の事業指定を受け、言語活動の充実に取り組んだ。Can-Doリストをもとに4技能の習得に継続的に取り組む。</p> <p>○生徒の授業満足度の向上を目指し、指導内容や方法の継続的な改善に取り組む。</p>
	<p>中長期の重点取組2「人間力を高める」</p> <p>(1) 挨拶の励行、遅刻防止に努める。毎日、登校指導を実施する。年間遅刻者数：昨年度比10%減</p> <p>(2) 生徒の自主的活動を促進する。行事への取組を通してリーダーを育成する。クラブだよりの発行、生徒表彰の随時実施等活動実績や成果を全校で共有する。</p>	<p>(1) 毎朝、職員が交代で校門指導を実施。遅刻者数は、この5年間大きく減少している。生活安全週間を設定し、登下校時に生活面全体の指導（H22:1021、H23:777、H24:856、H25:773）</p> <p>(3) 生徒会役員の東北ボランティア活動への参加、文化祭での活動報告等主体的な取組を積極的に行った。</p>	<p>○登下校指導や制服の着こなしセミナーを継続して実施する。</p> <p>○文化祭や合唱祭など、生徒が主体となった企画運営が軌道に乗っており、生徒満足度は100%に近い。</p> <p>○挨拶の励行、TPOをわきまえた言動など、一歩高めた品格向上に取り組む。</p>
	<p>中長期の重点取組3「全ての生徒の進路希望の実現」</p> <p>(1) 5教科7科目、6教科7科目型受験を最後まで諦めないよう、個別面談や国公立大ガイダンスの実施などきめ細かな進路指導を行う。</p> <p>(2) 大学見学会、オープンキャンパス、大学出前授業を行う。こうした取組への満足度：90%</p> <p>(3) 教職員のチーム体制を整え、AO・推薦入試受験者への指導内容を充実させる。</p>	<p>(1) 年間3回、面談週間を設定し、担任による個別面談を実施。センター試験出願率が過去最高（H23:82.3、H24:91.1%、H25:85.9%）</p> <p>(2) 1年生全員が名古屋大・京都大見学会に参加。満足度98%。大学出前授業、キャリア教育講演、OB講演会を実施</p> <p>(3) 国公立大の受験者を中心に、受験者集会、AO・推薦入試出願者激励会、二次試験激励会の実施など、全体指導、個別指導を充実させた。</p>	<p>○4月末、10月末、に1週間、全学年で面談週間を設定し、担任との個別面談を実施</p> <p>○卒業生による講演会を継続して実施する。</p> <p>○大学のオープンキャンパスへの参加は、満足度も高く、進路選択にもつながることから継続して実施する。</p> <p>○AO・推薦入試対策として、面接や小論文指導を強化していきたい。</p> <p>○キャリア教育の充実に引き続き取り組む。</p>

	<p>中長期の重点取組4「人権尊重の精神を育成する」</p> <p>(1)生徒人権委員会活動の充実</p> <p>(2)生徒の主体的な活動や取組の促進</p> <p>(3)省エネ、資源リサイクル、校内美化等美化委員会の活動の充実</p> <p>(4)地域と連携した防災・避難訓練の実施(たけのこ保育所、早修小学校、地域住民)</p>	<p>(1)生徒人権委員会を学年ごとに行い、ソーシャルネットワーク等身の回りの人権課題について意見交換し、その内容を人権だよりで全校に共有した。</p> <p>(2)学習活動や部活動で成果を上げた生徒について、定期的な活動だよりの発行、校内掲示、表彰式の随時実施等、成果を共有している。</p> <p>(3) 地域住民 20 人も参加し保小高合同で避難訓練・防災講話を実施した。</p>	<p>○年度初めの人権委員会で年度のテーマを決め定期的に話し合い、人権委員会だよりを通して全校に発信していく。</p> <p>○図書委員会を中心となったビブリオバトルの実施や文化祭での取組等図書館からの情報発信を積極的に行った。</p> <p>○美化委員会、保健委員会、図書委員会、人権委員会が定期的に便りを発行し全校に配布した。</p> <p>○地域の学校や住民と連携した防災避難訓練を引き続き実施していく。</p>
--	--	---	---

(2)学校関係者評価委員会の実施状況

学校関係者評価委員会の実施内容等	
<実施回数>	3 回
実施内容	<p>1 回目：学校の現況を報告後、授業見学。その後、H24 年度学校評価、H25 年度学校経営の改革方針、本年度の学校評価の進め方について意見交換した。</p> <p>2 回目：授業見学後、各部より学校の現況を報告し、中間評価をもとに意見交換した。</p> <p>3 回目：学校自己評価をもとに、本年度の課題、次年度への改善策について意見交換し、評価結果をまとめた。</p>

(4)学校関係者による評価結果

学校関係者評価から明らかになった改善課題	
関係者評価	<p>○毎朝の登校指導により年々遅刻者数が減少していることは大変よい。挨拶の励行や品格の向上など、家庭との連携を強化して取組を進めていくことが大事である。</p> <p>○コミュニケーション力の向上のため、教育活動全体を通して発表する機会をどう与えてやればよいか、考えていく必要がある。</p> <p>○各方面で活躍している同窓生もたくさんいる。講師として招請し講演会を開催するなど、キャリア教育をより充実させていく必要がある。</p>

(5)組織力向上のための取組(改善策)

次年度に向けた取組	
<p>○ 「学習活動と部活動の両面で充実感が得られる学校」を目指し生徒の主体的な活動を促進するとともに、活躍した生徒を顕彰し成果を共有する取組を進める。また、夢を育み、その実現を目指し意欲的に取り組むよう、キャリア教育の充実に向け具体的な事業を展開する。</p> <p>○ 毎朝の登校指導により年々遅刻者数が減少している。今後は家庭との連携も強化し、より高い品格の向上を目指した取組を進めていく。</p> <p>○ スマホ、携帯、SNS等ネットへの依存を少なくし、互いに良好な人間関係を築いていけるよう、生徒会が主体となった取組を進めていく。</p> <p>○ 地域の歴史や文化を理解し、地域の活性化に貢献できる人材育成を目指し、海外語学研修、国際交流や国際理解教育を推進する。</p>	